



教育魅力化推進事業 2 Q報告

2023 / 10 / 5

Update "Freedom"



本日の流れ

Update "Freedom"

①KPI進捗

②各事業の取り組み共有

-遊育

-あびらぼ

-ワクワク研究所

-ABIRA Talks

-教育課程支援事業

-コンシェルジュ

③その他



KPI進捗

Update "Freedom"

	2Q実績 ※7月～9月末時点	年間目標
遊育	ふれいば9回/ イベント7回	月4回以上
ワクワク研究所	3回	
あびらぼ	25回	2地区各2教室
教育課程支援事業	33コマ	48 / 100コマ
コンシェルジュ	1	イベント 4 / 4回

KPIの進捗は順調。

	2Q実績 ※9月末時点	年間目標
参加数	186名	323名
接触数（4年～中2）	58名	136名

4月から9月にかけて町内の**約28%**の子どもが参加
参加数の昨対比（上期終了時点）は**1.4倍**

R5年度	追分	早来	種別
子ども園 (3歳~5歳児)	45	128	173
	37.8%	16.4%	22.0%
小学校	109	199	308
	51.4%	33.7%	39.9%
中学校	56	109	165
	28.6%	7.3%	14.5%
エリア別	210	436	646
	42.4%	22.0%	28.8%

下期は早来地区でのコラボイベントを中心に参加者を集めていく。



各事業の取り組み共有

Update "Freedom"



遊育

Update "Freedom"

- 1) 2 Q活動計画
- 2) 2 Q活動内容
- 3) 2 QのGOOD/MORE
- 4) 3 Q活動計画





【参加者】

延参加者：181名

うち新規参加者：49名

【イベント計画】

7月	22日（土）ガンケ山 30日（日）ガンケ山スタンプラリー
8月	9日（水）むし集め@ガンケ山 12日（土）ゆういくマルシェ
9月	2日（土）のもりイベント 9日（土）焼き芋会@ガンケ山 23日（土）こころ自然農園ツアー





「やってみたい」
を形に

- ・ ガンケプロジェクト
- ・ ゆういくマルシェ
- ・ インターン生ミニイベント

まちとつながる

- ✖ おいわけ遊び場O!en隊
「焼き芋会」
- ✖ はやきた子どもの遊び場づくりネットワーク
「のもりイベント」
- ✖ 追分盆踊り
「ゆういくマルシェ」
- ✖ こころ自然農園（反町さん）
「農園ツアー」



ガンケプロ



追分小学校6年生の自主的なプロジェクト
理念は、「自然にスポットライトを」



ガンケプロ

スタンプラリー



ガンケプロメンバーから、人を楽しませるような企画を考えるの楽しい。将来そんな仕事したいという声。



ゆういくマルシェ



ゆういくマルシェとは？



日常の遊びの中で見つけた、

「やってみたい！」

をお店屋さんにして叶えるイベント

どのお店の店長さんも、
自分の「やってみたい！」の想いをもとに、商品や
看板をつくり、値段の設定をしました

ぜひ！
ゆういくマルシェにお越しください！

- ・ 場所：いぶき1階ロビー
- ・ 時間：16時から18時



ゆういくマルシェ

「サンキューカード」を導入。来場者と出店者が売買以外の交流を。



インターン生 ミニイベント

インターン生の「やってみたい」と遊育価値とは？の試行錯誤。子どもたちにとっては新鮮味のあるコンテンツに。

ガンケ山むし集め



手形お絵描き



うどんづくり



✦追分盆踊り



ゆういくマルシェを追分盆踊りで開催。幅広い層のまちの方々が来場。遊育、あびら教育プランを知ってもらう機会に。



✦おいわけ遊び場O!en隊 「焼き芋会」



O!en隊メンバーの「やってみたい」コンテンツを共催。
子どもたちが遊んでいる側で、大人たちが談笑している場面も。



✦はやきた子どもの遊び場づくりネットワーク 「のもりイベント」

手作りギターで
セッション

ネイチャーゲーム

ゆっくり親子時間



遊び場ネットとのコラボによって、遊育初のもりイベントが実現。遊育にこども園層が楽しめる企画を考えるたねに。



✦ ころろ自然農園



子どもたちにとっては、はじめての体験を楽しむ。大人にとっては、まちを知るライトな学びの機会に。





Good

- まちを活用することによって、コンテンツの幅が拡大。遊育に触れてもらう機会創出にも。
- 遊育常連の子どもたちがぷれいば/ガンケ山で独自の遊びを展開。周囲に「没頭」が波及
- 「やってみたい」をやる楽しさ、成功体験を得られた。

More

- ぷれいばの魅力あるコンテンツ設計
- こども園/小学校低学年層が安心して楽しむことができるイベント

地域に開く、「ちょっとやってみたい」を叶える。この点が動き出した2 Q。3 Qは低年齢層に向けても実現させていく。



【目標】

新規44名参加

【イベント計画】

10月	21日 (土) みんなの丘 (早来学園) イベント 28日 (土) ガンケ山夜遊びイベント
11月	18日 (土) ガンケ山
12月	9日 (土) ガンケ山 16日 (土) クリスマスフェス
ふれいば : 12回	





あびらぼ

Update "Freedom"



- 1) 2Q活動計画
- 2) 2Q活動内容
- 3) 2QのGOOD/MORE
- 4) 3Q活動計画





【目標】

- ・ あびらぼの正しい認知を広げる。
- ・ 生成AI編を作成・実施する。

【計画】

7月	・ 言葉編の実施
8月	・ 児童・生徒との面談 ・ 生成AI編作成
9月	・ 学校でのプチあびらぼ開催 ・ 生成AI編の実施



学校内でのプチあびらぼ



「正しい認知の拡大」を目的とした施策。先生方の見学や新規入会者1名など、一定の成果が出た。



あびらぼプチクイズの作成・実施



「正しい認知の拡大」を目的とした施策。よりライトな入り口からあびらぼの話ができるようになった。学園5~6年生のほとんどが知ってくれている。

あびらぼ おうち de プチミッション

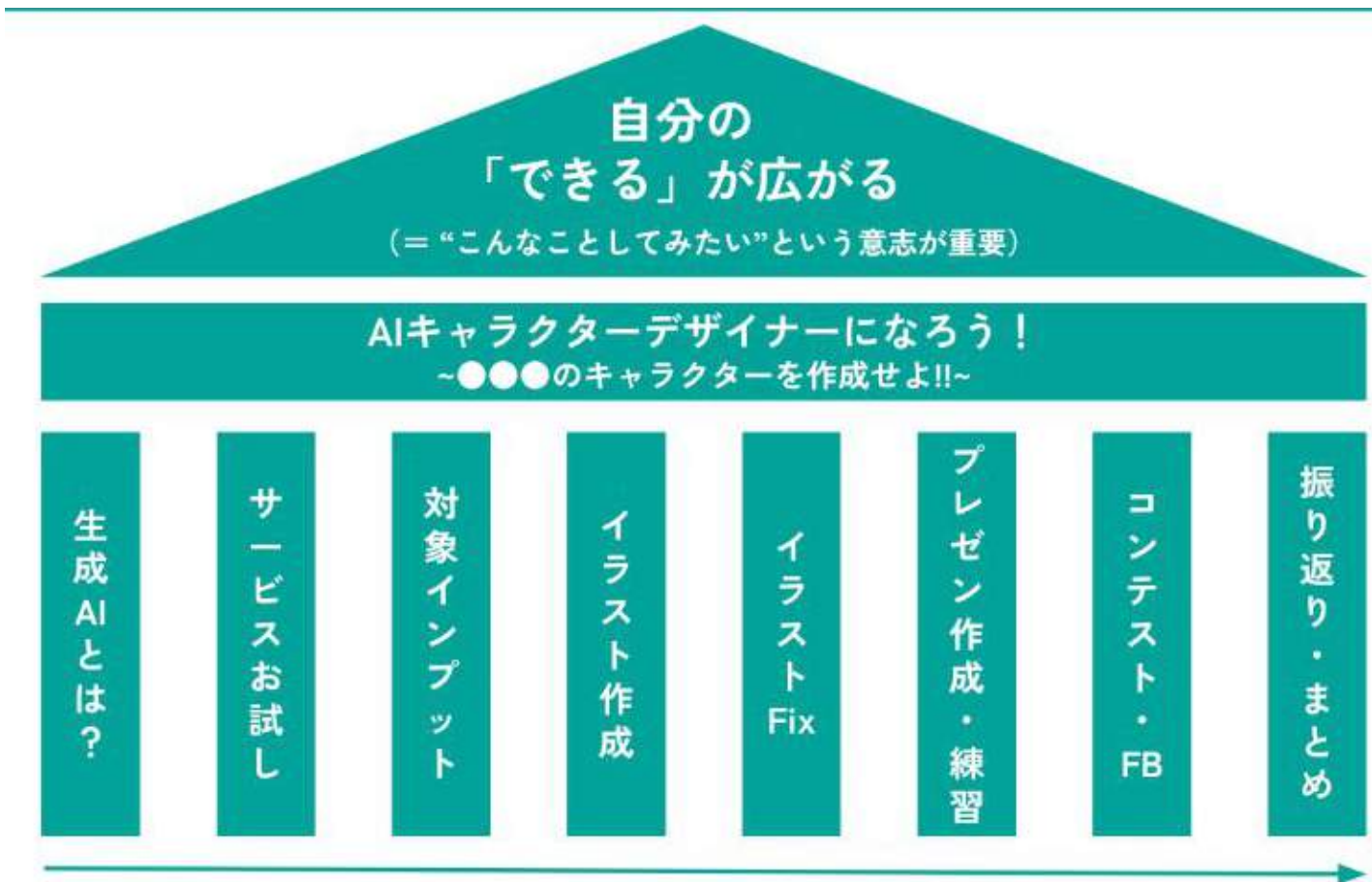
The graphic features the title 'あびらぼ おうち de プチミッション' at the top, with 'あびらぼ' in blue circles. Below it is 'A1編' in blue circles. The main text reads 'お家の人と一緒に Clipdropを使ってみよう！'. At the bottom left is a blue robot icon and '© FoundingBase'. At the bottom right is a yellow circular logo with 'あびらぼ' and a note: '※メールアドレスさえあればClipdropを使えるよ!!'. There is also a small yellow circular logo with 'あびらぼ' in the bottom right corner of the graphic.

「正しい認知の拡大」を目的とした施策。あびらぼと家庭を定期的に繋ぎ、ただただ「楽しい場所」という認識を変える。





生成AI編~授業概要~



リスク面でタブー視されがちな「AI」だが、技術に使われるのではなく、技術
を使える人になってほしいという思いから、テーマとして選択。





生成AI編~ミッション~

AIを使って キャラクターを生み出せ!!

インプット

キャラ作成

コンテスト

優勝作品は今後使わせてもらいます!



「コンテスト」を設けることで、アウトプットクオリティへの意識を高める。





生成AI編~ 『Clipdrop』を使った画像生成~



生成AI編~ 『Clipdrop』を使った画像生成~



小学部→あびら教育プラン



『あびらぼ』のみではなく、『あびら教育プラン』の全体像を捉える機会に。
遊育~ABIRA Talksの認知拡大、将来的な相互乗り入れを狙う。



中学部→まち（おむすびカフェ / 坪松ビール / まなびお）



『あびらぼ』のみではなく、『あびら教育プラン』の全体像を捉える機会に。
遊育~ABIRA Talksの認知拡大、将来的な相互乗り入れを狙う。



早来中学部が試行錯誤を重ねて作った『まなびお』のキャラクター





Good

- ・ 学校でのプチあびらぼ→新規入会。
- ・ プチクイズを活用した認知拡大。
- ・ プチミッションでの家庭との繋がり。
- ・ 「生成AI」へのチャレンジ。
- ・ まちの事業者とのコラボ。

More

- ・ 中学生との接点づくり。
- ・ プチミッションの回収率。

「認知拡大」のための新しい取り組み、既存生の満足度を高める授業開発・実施ができた。下期も継続しつつ、中学生との接点づくりも模索する。



【目標】

- ・あびらぼの正しい認知を広げる（継続）。
- ・生成AI編でアウトプットを出して実際に使用する。
- ・ビジネス編をリニューアルし、実施する。

【計画】

10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス編作成 ・生成AI編
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・生成AI編コンテスト
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス編開始 ・町外イベント（北海道大学）



ワクワク研究所

Update "Freedom"



- 1) 2Q活動計画
- 2) 2Q活動内容
- 3) 2QのGOOD/MORE
- 4) 3Q活動計画



**【目標】**

- ・5期のワクワク生を8~10名集める。
- ・カリキュラムと伴走方法論を作成する。

【計画】

7月	・カリキュラム骨子作成
8月	・あびらぼ面談での集客 ・カリキュラム作成
9月	・ワクワク5期開始

9名の参加（追小3 / 早小4 / 早中1 / 町外1）



全員あびらぼ生。9名のうち、新規6名と、狙い通りの集客ができた。
お互いのプロジェクトを応援し合う良い関係性が築かれている。

ワクワク研究所のコンセプトの策定



“より良い”を目指し続ける



コンセプトに紐づいた行動指針の策定

① 失敗大歓迎、何度もトライしよう！

② 「できない」を「できた」にしよう！

③ ひとりで抱え込まずに、誰かを頼ろう！

子どもたちの口からもこの行動指針が出てくるように。今後、プロジェクト実行時により価値が発揮されると思うので、期待。



プロジェクト構想の一部にChatGPTを使用



あびらぼで使い方を学んだChatGPTを、ワクワク研究所で使用。
一番コストのかかる伴走の形も徐々にアップデートされている。



自宅で実施できるミッションの作成

MISSION

**家やまちにある
“何かをより良くしている”
アイデアを探せ!!**

© FoundingBase

マイプロジェクトを進めるため“だけ”の場所から、
「クリエイティブな力が自然と身に付く場所」へ。



小学生の伴走をする中学生



ベテラン中学生が、小学生のプロジェクトの悩みを一部サポート。
考え方等含めて、文化が伝播してきている。





Good

- ・ 新規6名の参加。
- ・ 価値観を伝達するための工夫。
- ・ 「つくる」文化の醸成・伝播。

More

- ・ ホンモノに触れる機会の増加。
- ・ プロジェクトの拡張。

「ワクワクとは？」を理解している子どもが多く、非常にやりやすい素敵な場になっている。より、「来ること」が楽しくなる場にする努力を。





【目標】

- ・子どもたちのプロジェクトが“より良く”なるためのサポートをする。
- ・まちを巻き込むプロジェクトを思考する。

【計画】

10月	・ 教室運営
11月	・ 教室運営
12月	・ 発表会 (12/23) ・ 6期の生徒募集



ABIRA Talks

Update "Freedom"



BA(e)FUN FES 2023
10.08.SUN 13:00-17:00
 ときわキヤンド場

 テントサイト	 飲食ブース	 馬ふん肥料 展示
 SDGsトークショー	 アウトドアキッズ 販売	 子ども向け リレーゲーム

トーク
 石原社社長 本間 様 「入道」が選手に「入道」!! 既向かてきたまで」
 浦河町役場 小原 様 「ハイマスタキッズ」復活復活と取り組む」

入場料
 大人(高校生~): ¥1500
 子ども(小学生~): ¥1000
 ※飲食チケット ¥500を含む

申込必須
 9/28(木)



任意団体BAUNA / 代表: 北本 望 / TEL: 090-3357-8981

共催: 合同会社SOTOIKU / 協賛: NPO法人アビラベースボールクラブ / 共催 / ABIRA Talks

9/2 (土) / 10/8 (日) それぞれのイベントを実施。
 伴って、LINEオープンチャットも動かせてよかった。



教育課程支援事業

Update "Freedom"



- 1) 2Q活動計画
- 2) 2Q活動内容
- 3) 3Q活動計画



まちづくりをテーマとした7年間の総合学習モデル(地域学習部分)の構築

前期(3～6年)

地域(町)と出会い、つながり、
体験・見学を通して**学び**を深める

「出会う・知る・経験する」を重視

早来学園の例(実施済み)

- ・まち探検(3年生)
- ・メロン学習(4年生)
- ・炭鉄港学習(4年生)
- ・仕事探究(5年生)
- ・米学習(5年生)
- ・馬学習(6年生)
- ・SDGsまちづくり(6年生)

後期(7～9年)

自らミッションを設定し、学校や
町をフィールドに**アクション**する

「調べる・アクションする・考える」を重視。

早来学園の例(未実施)

- ・まちの防災(7年生)
- ・まちの仕事(8年生)
- ・まちの未来～まちづくりを考えて実践～(9年生)

総合学習を「まちづくり」というテーマで一貫し、
「シビックプライド(安平町に対する愛や誇り)」「主体性(町や社会を自分でつくるという感覚)」を育む



【計画】

7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早来学園7年生：防災学習 ・ 早来学園3年生：まち探検 ・ 早来学園4年生：メロン学習
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早来学園7年生：防災学習
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早来学園4年生：メロン学習 ・ 早来学園6年生：馬学習 ・ 早来学園7年生：防災学習 ・ 早来学園9年生：まちづくり学習



メロン収穫！

プランターか地面かで大きさが違う...？



いざ試食！

美味しくできたかな...？



「地面orプランター」から選ばせて「探究ポイント」を増やした今年度。育て方によって、見た目や味に変化はあるか？などたくさんの疑問や好奇心がどんどん湧き出ているように感じました。



防災クッキング



45分で力を合わせて避難所設営



早来学園にて防災キャンプを実施！子どもたち主導のパートを用意し、そこに向けての準備や当日の司会進行等を行っていただきました。先生から「子どもたちの新しい一面や可能性を知ることができた」とのお言葉をいただきました。

子どもたちのまとめは、校内サイネージとあびらチャンネルにて放送されます！



馬や安平町との関係を理解する授業



ノーザンホースパークで本物を見学



興味関心に基づいてチームを形成し、アウトプット方法を議論



どうした効果的に魅力が伝わるかをチームで思考しながら作成中！

馬に対して興味がない&触れなかった子が触れるようになったり、自分たちで決めたアウトプットに対して悩みながらも夢中になってやっている姿が印象的でした。



ミッション

安平町のリアルな悩みを理解し、
解決するためのワクワクする行動を考え、
実際に行動して町を変える一歩を創る！



政策推進課笹山さんによる
安平町まちづくり授業



「子どもの意見を反映する仕組みがない」
課題を解決するアイデアを思考し、アクション
を試してみる



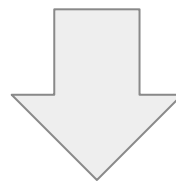
教育委員会三上さんによるCFCIの授業

テーマは「ソーシャルチェンジ」

当事者（役場職員）からの授業を受け、インプットし、安平町のリアルな課題を
アクションも含めて行う授業



自分の興味関心に基づいて選び、
自分で考え進めていく余白を持たせた授業設計
(児童生徒の主体性を大事にする)



不確実性を許容する学校の価値観



【計画】

- ・ 4年：炭鉄港学習
- ・ 6年：馬学習
- ・ 9年：まちづくり学習

コンシェルジュ

Update "Freedom"



- 1) 2Q活動計画
- 2) 2Q活動内容
- 3) 2QのGOOD/MORE
- 4) 3Q活動計画



【実施したこと】 KPI：イベント4回中4回実施

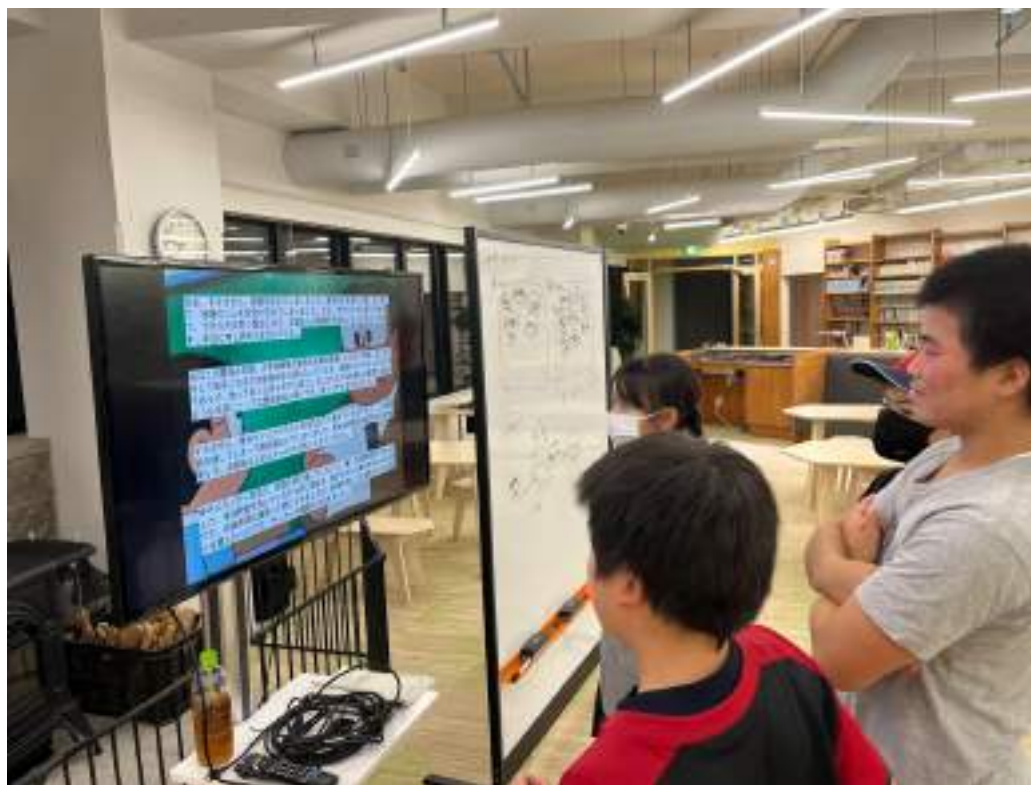
7月	
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ あびら教育フォーラム ・ 下期少年団調整ミーティング
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ オープンチャット運用開始 ・ インスタグラム開設

あびら教育フォーラムの実施



まなびお全ての施設を貸し切り、安平町の教育を紹介するイベントを実施。延べ340名ほどの方が来場した。今後のまなびおでのイベントの可能性を広げる機会になった。

まちのリビングにてあびらぼ実施



小学部では、バスまちの児童生徒が参加をしたり、そこから新規入会につながるなどの変化が生まれてきている。

オープンチャットの導入



少年団各団体とコンシェルジュのライトな連絡手段がなく、工数が発生していたため、オープンチャットを導入した。

備品借用書の導入

借 用 書

学校 〇〇 〇〇 〇〇

申請先：

担当者：

住所：

〒〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

記

品名	数量	単位	備 考
貸 借 日 期	借出日 〇月 〇日 返 却 日 〇月 〇日		
借 主 氏 名	〇〇〇〇〇		
親 御 氏 名	〇〇〇〇〇		
電 話 番 号	〇〇〇〇〇		
住 居 番 号	〇〇〇〇〇		
所 属 学 校	〇〇〇〇〇		

※ 物品の借出に際しては、借出・返却等に伴い必ず定期的に検閲していただき、借入・返却の際は必ず内容を照合していただくようお願いいたします。ご不明な点がございましたら、下記メールアドレスまでご連絡ください。mailto:mimoc@fbcg.jp

借用可能物一覧

※ このほかにも数種ありますが、ここでは重要となる種類のみを挙げており、詳細はご確認をお願いいたします。

- 【大ブローチ】
 - ・大ブローチ（黒）
 - ・大ブローチ（白）
- 【小ブローチ】
 - ・小ブローチ（黒）
 - ・小ブローチ（白）
- 【ボタン】
 - ・黒
 - ・白
- 【リボン】
 - ・黒
 - ・白
- 【その他】
 - ・黒
 - ・白

大会等で使用する際の備品リストを作成。どこの何をいつからいつまで借りるかを学校、コンシェルジュ、少年団で一覧でわかる形にした。



インスタグラムの導入



まなびおの利用に関する基本情報がすぐにタイムリーに把握する情報がなかったため、インスタグラムを作成しました。インスタグラムを見て、イベント利用の問い合わせなどもきています。



Good

- ・ 関係者調整の改善
- ・ まなびおの活用方法の拡大

More

- ・ 事前予約の管理改善

総評

予約、利用までの学校、コンシェルジュ、少年団、利用者間のフローの中で発生していた問題を解決することができている。
3Qは冬休みがあるため、夏休みに発生していた問題を解決する打ち手を早めに検討していきたい。



【計画】

- ・ 冬休みの事前予約方法の改善
- ・ 遊育クリスマスマルシェ



その他_あびら教育フォーラム

ABIRA EDUCATION FORUM

あびら教育フォーラム

2023 8/3 Thu 8/4 Fri

場所 / 安平町 早良学園

参加費 / 3,000 円 / 各日 (学生は無料です)

日本一の公教育を
目指すまちの挑戦

北海道安平町の教育と出会う2日間

要申込み

7/21 Fri 〆切



QRコードを
お読みください



主催 FOUNDING BASE 共催 〆〆〆〆〆〆〆〆





参加人数

2日間で約**340名**
※自治体職員27組

参加者
属性

自治体職員**18%**、公立教職員**11%**、
大学職員**7%**、その他**64%**

参加者
満足度

4.6点/5点満点中

教育長、市長、経産省教育産業室長、神山まるごと高専事務局長など
キーマンとなるトップの方々にも参加いただきました。



- ・安平町の教育まちづくりで幼少中の連携をハードにソフトに素晴らしい取り組みをされていて、この町に移住してみたいと思わせるものでした。
- ・民間と行政の連携力の強さを非常に感じました。大変参考になりました。本日はありがとうございます。
- ・今年2月にフィンランドに教育視察に行ったが、安平町はフィンランドの実践内容と非常に重なることを強く実感した。これからも目が離せないし、長沼町の学校づくりの貴重なモデルとして関わっていきたい。素晴らしい教育フォーラムでした。知り合いにも再会できたりと、出会いの場としても素敵でした。ありがとうございます。
- ・行政・民間と同じ方向を向いて進めていること、進めるにあたってのマインドセットが参考になった。



松坂孝紀 | 神山まるごと高専 事務局長

@matsuzaka01

今日明日と北海道の #安平町 であびら教育フォーラムに参加しています。
公教育の改革、義務教育学校の取り組み、学校と地域の一体的な発想、建築の考え方など学び多き一日でした。裏ではたくさんの苦勞や議論があったと思うし、世の中にないい好事例は関係者の「諦めなかった何か」で出来ていると再確認。



17:50 · 2023/08/03 場所: Earth · 4274 回表示

9 Reposts 1件の引用 69 件のいいね



北海道農福連携プロジェクトさんは安平町にいます。

2日 · 🌐

安平町がすごかった....!!

あびら教育フォーラムに参加してきました

想像を超える熱量で、衝撃をうけ

いっそのこと移住したいとまで思える官民一体の町に対する情熱がすごすぎた

いんくるらぼ
オーガニックヴィレッジ
農福連携

とほんの少しだけど、こんなやる気に溢れる町に関わられてよかったと実感しました

これは確実に大きくなる町

空港からも近くて魅力あふれる町

農福連携の北海道を代表する発進地点にしたいと思っています

これからも少しでも力になれるよう自分にしかできないことをやっていきます

安平町長にもやっと会えました

<https://kurashigoto.hokkaido.jp/information/20230712090005.php>



<あびら教育フォーラム>

フォーラムに参加された先生から資料と概要をいただきましたので、ご紹介します。先生ありがとうございます。

【ポイント】①

主体的 → 子どもが主体なので、本来そもそも主体的です（それを奪っているのは大人?!）

深い → 人それぞれで深さは違うので、可視化して評価をすることはできない

☆つまり、対話的から取り組むのが妥当といえる！

【ポイント】②

社会に開かれた教育、生涯教育との接続を考慮すると、あびらぼなどの教育課程外と、総合などの教育課程内の学習の関連についてもっと深めていくのが良いのでは？

【ポイント】③

幼少ギャップが激しい現状を打破するために、イメージのすり合わせが急務

3個のファイル



安平教育フォーラムから.pdf
PDF



(村越先生)主体的対話的.pdf
PDF



早来学園の実践.pdf
PDF

済 6 

研修担当の先生がフォーラムでの学びをまとめ、先生方にシェア。
早来学園の先生方にも大きな影響がありました。



その他_地域おこし協力隊インターン制度

Update "Freedom"



地域おこし協力隊インターン

○ 令和6年度に隊員数8,000人という目標に向け「応募者数の増加」が急務であるなか、令和元年度から「おためし地域おこし協力隊」を実施しているが、隊員としての実際の活動や生活が具体的にイメージしにくいという意見も。そこで、「おためし」と「本体」との間に、新たなメニューとして「地域おこし協力隊インターン」を創設し、応募者の裾野を拡大。

地域おこし協力隊インターン←NEW!

★期間
・2週間～3か月

★移住要件
・なし

★活動内容
・地域おこし協力隊と同様の地域協力活動に従事

★財政措置（特別交付税措置）
・インターンのプログラム作成等に要する経費：
1団体あたり100万円上限
・協力隊インターン参加者の活動に要する経費：
1人・1日あたり1.2万円上限

⇒地方への移住に淡い関心を寄せる方や地域おこし協力隊をあまり知らない方へアピール!

⇒地域おこし協力隊への参加を具体的なイメージをもって検討することが可能に!

おためし地域おこし協力隊

★期間
・主に2泊3日

★移住要件
・なし

★活動内容（例）
・行政、受入地域等関係者との顔合わせ
・地域の案内、交流会
・地域協力活動の実地体験 等

★財政措置（特別交付税措置）
・実施経費：1団体あたり100万円上限

地域おこし協力隊

★期間
・1年～3年

★移住要件
・原則、都市地域から条件不利地域への移住が必要

★活動内容（例）
・地場産品の開発・販売等地域おこし支援
・農林水産業への従事
・住民の生活支援 等

★財政措置（特別交付税措置）
・募集経費：1団体あたり200万円上限
・活動経費等：1人あたり470万円上限

参考事例

・新潟県においては、「にいがたイナカレッジ」として、1か月（短期）～1年（長期）の「地域インターン」を実施。短期（主に大学生）113名、長期（主に社会人）35名が参加（2012～2019年度、延べ数）

・「集落の若い人たちが集まりに出やすくなったと思います」、「なかなか腰が重くて取り掛かれなかったことが、学生達が私たちの背中を後押ししてくれました」といった地域の声あり。



◆ R4修了生：8名

◆ R5修了生：6名（+期中終了1名）





人生のターニングポイント としての安平町



◆進路変更→ネイチャー系映像制作会社へ

◆浦河町 森の幼稚園 立ち上げメンバーとして活躍

◆関東圏×地域×大学生イベントでの登壇

◆東京都教員採用試験合格



育てたい 暮らしたい 帰りたい

みんな未来へ駈けるまち

1 地域コミュニティ

地域コミュニティ活動の活性化の推進



3 生涯学習・社会教育 将来のまちづくりを担う人材の育成

